

救命の手順

JRC（日本版）ガイドライン2010年対応

1 意識の確認

肩をたたいて

意識の確認



2 助けを呼ぶ

3 呼吸の確認

胸と腹部の動きを見て、
呼吸の確認をします（10秒以内）



4 30回の胸骨圧迫

胸が5cm以上沈む程度の強さで、
1分間に100回以上のテンポで押します



5 AEDで電気ショック

※傷病者から離れましょう

1. 意識の確認

『大丈夫ですか』など、呼びかける
肩（鎖骨のあたり）を叩き、痛み刺激を与える

2. 救急車、AEDの依頼

『誰か、来て下さい！』大きな声で応援を呼び、
周りの人に『119番で救急車の手配をお願いします』
『AEDを持ってきて下さい』と依頼する

3. 呼吸の確認

胸と腹部の動きを観察し、正常な呼吸があるか確認する
死戦期呼吸は正常な呼吸ではない
10秒以内に確認する

4. 胸骨圧迫、人工呼吸

- ①服を脱がせ、胸の真ん中に手のひらの付け根を置く
- ②1分間に100回以上のリズムで30回胸骨圧迫を行う
（5cm以上の深さで圧迫）
- ③気道を確保し、2回人工呼吸を行う（1回につき1秒）
- ④30回の胸骨圧迫と2回の人工呼吸を繰り返す行う

※人工呼吸が難しい場合は省略してかまいません

5. AEDが到着しだい、AEDを使用

- ①ふたを開ける（電源を入れる）
- ②電極パッドを貼る（右の鎖骨の下と左の脇腹）
- ③電気ショックが必要な場合は、放電ボタンを押す

救急車が到着するまで、もしくは傷病者から反応が出るまで心肺蘇生を続けましょう

こんなときにはAED!!

●意識がない

●呼吸がない

●脈拍なし（医療従事者のみ）

① ふたを開けると、電源ON！



フタを開けると100回/分の動作音が始まります。
※動作音に合わせて胸骨圧迫が可能※

「成人モードです。
意識・呼吸を確認してください。
胸を裸にして、AEDのフタから
四角い袋を取り出してください。
袋を破いて、パッドを取り出してください。
パッドを青いシートからはがして図のように
右胸と左わき腹に貼ってください。」

重要

成人を救助する時⇒成人モード

小児（未就学児）を救助する時
⇒小児モード



重要

使う前には
ここをチェック！



成人・小児モード
切換スイッチ

② 電極パッドを体に貼ります。



左右どちらでもOK.



電極パッドを貼ると、自動的に心電図の解析を開始します。
あとはAEDの音声ガイドに従ってください。

「体にさわらないでください。
心電図を調べています。
体にさわらないでください。」

電気ショックが必要な心電図の場合

「電気ショックが必要です。
充電しています。」

電気ショックが不要な心電図の場合

「電気ショックは必要ありません。
体にさわっても大丈夫です。
直ちに胸骨圧迫と人工呼吸を始めてください。」

③ ショックボタンを押します。



「体から離れてください。
点滅ボタンをしっかりと
押してください。」

「電気ショックを行いました。
体に触っても大丈夫です。
直ちに胸骨圧迫と人工呼吸を
始めてください。」

胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を
交互に2分間行います。



普段どおりの呼吸が戻った場合は、身体を横向きにして救急隊員の到着を待ちます。
（電極パッドは貼ったままにしてください。）

日本光電工業株式会社

東京都中野区東中野3-14-20 〒164-0003

AED専用フリーダイヤル:0120-701-699

URL: <http://www.nihonkohden.co.jp/>



NIHON KOHDEN